

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハッピーテラス足利西教室		令和 7年 2月 12日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	安全に過ごせるよう、十分な配慮と環境整備を行い活動を進めていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準を上回る体制で運営している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	宿題など集中して取り組めるよう環境設定を行っている。事業所の空間がバリアフリーに整備されており、トイレには手すりが設置されスペースも広めに確保されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の掃除、消毒を行っており、活動に合わせてレイアウトを工夫している。	安全に過ごせるよう、十分な配慮と環境整備を行い活動を進めていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	状況に合わせ、訓練室とは別に相談室を利用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日の日誌、月の振り返り作成や始業前後の申し送りを実施。その中で職員からも情報交換を行い業務改善につなげている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ご意見を参考に事業所内で検討し、改善できるよう対応している。また、書面にし保護者へ配布している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的な個人面談や申し送り時に職員の意見を聞き、業務改善等を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		現在は実施していないが、本部による定期評価は実施している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	凸凹ベース株式会社の研修や外部の研修案内を周知し、職員が参加する機会を設けている。また研修に参加した職員が勉強会の開催を行っている。外部に依頼し感染症に対する勉強会を実施した。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページに年間の支援プログラムを公開している。また定期的に通信でトレーニング内容やイベント内容などをお知らせしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者との面談や関係機関と情報の共有を行い、個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	日頃の支援の中から課題となることを職員で話し合い情報交換や情報共有を図り、様々なアプローチを行いお子さまに合った形で提供できるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画に沿った支援を行い毎日の振り返りの中で支援に対する確認を行い、共有できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	様々な資料を参考にアセスメントを行うだけでなく、日々の生活の中からアセスメントを取っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	週テーマに基づき、担当職員が立案を行っている。内容をその日支援にあたる職員全員で検討している。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	お子さまが楽しんで取り組めるよう、遊びを取り入れた活動を行い、毎日利用のお子さまの楽しめるよう内容の変更を行っている。また、成功体験につなげられるよう内容の調整も行っている。		

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	お子さまの興味関心を取り入れ、一人一人に合わせて計画を作成し、支援を行っている。また一人一人に合わせてトレーニング内容の調整も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	職員の勤務帯に合わせて申し送りを行い、送迎・支援内容の役割の確認を行っている。また、サポートの仕方についてなどチームで連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	全員での振り返りが確実に行えない理由として、送り届けの業務があるため、翌朝の申し送りの際に前日の振り返りと当日利用予定のお子さまに関する打ち合わせを実施している。また、非常勤職員からの情報共有を行い、記録に残すことやその場で気づいた事項をスタッフ間で共有し、次の日の申し送り時に報告できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の支援記録をパソコンで管理し、申し送り時に様子を伝達し合い、よりお子さまに合った支援となるよう話し合いを行い、検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	日々の記録を基にスタッフ間で話し合い、定期的にモニタリングを行い計画の見直しを定期的に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	0	自立に向けた支援の中で成功体験を増やすことやイベントなどお子さまと共に企画し主体的に参画できる取り組みを行うなど、ガイドラインに基づいた支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動内容を各自が考え、取り組むことができるよう工夫を凝らしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	定期的に担当者会議を行い、児童発達支援管理責任者が関係機関との連携を図っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて、学校をはじめ、関係機関との連絡調整を行い、お子さまの支援を協力して行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	行事予定や下校時刻の確認はSNSや書面を通じて行われている。また、学校内でのトラブルや送迎時の対応については、口頭での情報共有で実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	保護者からの情報共有や、入学支援シートを使い状況把握に努めている。	要望に応じて就学前に利用していた関係機関と情報収集行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	必要に応じて、支援内容やアプローチ方法など情報共有を実施している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	相談支援専門員と常に連携を図っている。	児童発達支援センターとの連携は、現在の所図れていない。必要に応じて連携を図っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	放課後児童クラブや児童館との交流はないが、児童公園や公共の場の利用を実施している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	協議会への参加は現状は参加できていない。相談支援専門員、他事業所、保護者とお子さまの支援についての連携を図っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時や面談時、書面などで情報伝達を行っている。また必要に応じて電話で情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	面談時に情報提供を行っている。市内で開催される研修会に関する情報が入り次第、お知らせしている。	今後、保護者の方の意見を参考に研修や情報交換の機会を検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明を行っている。また、適宜相談等あった際にはその都度対応を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	具体的に分かりやすく説明を行い、保護者から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送迎時や面談時、相談等あればその都度対応を行っている。その場でお答えできない場合には一旦持ち帰り慎重に検討している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4		保護者参加型のイベントなど保護者同士の交流が図れるよう今後検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情受付責任者、解決責任者を設置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	定期的に通信を発行している。	年間活動計画や行事予定等を事業所玄関に今後掲示し、周知できるようにしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報に関する書類は、施錠された書庫にて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	一人一人に適した伝え方で丁寧な説明をするように心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	周辺施設での体験学習などを取り入れ、地域との交流が図れるよう取り組んでいる。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを策定し定期的に見直し等を行っている。訓練に関しては、定期的に勉強会を開催したり、トレーニングの中で実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	策定し定期的に見直し等を行っている。訓練に関しては、定期的に勉強会を開催するなどして実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時また面談時などに確認を行っている。内服などの変更があった際にもその都度確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者からアレルギーの検査結果などの情報が提供されている。アレルギーを持つお子さまは、おやつを持参してもらいなどの対応を取っている。クッキングを行う際には、アレルギーの原因となる食材は使用せずに配慮して実施している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	年間を通じて、非常災害時や感染症発生時、虐待防止、てんかん発作やアレルギーについての知識を深める勉強会を実施している。また、プール遊びを含むすべての行事においてマニュアルを作成し、そのマニュアルに基づいた活動を実施している。活動後には反省会を行い、課題を明確にし次の行事に活かせるよう努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	発熱や事故、怪我等が発生した際には、契約時にお伺いした緊急連絡先に連絡している。	新たに必要項目を増やし緊急連絡票の作成を行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎日の振り返りの中で情報共有を行っている。また、ヒヤリハット報告書が出た際に、職員全員で振り返り再発防止に向けて対策を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に研修を行っている。	年間で計画を立て研修を継続して行っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	定期的に会議を開き、保護者と事前に話し合い同意書を得るなどの対応を行っている。現在対象利用者はいない。	その都度必要な場面で対応していく。	